

個人投資家向け会社説明会資料

2018年5月



CEホールディングス

東証第一部：4320

目次

グループ概要

製品・サービスについて

2017年9月期業績

2018年9月期業績見通し

株式情報・配当・株主優待

CEホールディングス ワンポイント

- 電子カルテなど、**病院で使用される医療情報システム**の開発・販売・運用が、グループの主な事業です。
- 病院向け**電子カルテ**の導入件数は**国内第2位**。**約2割のシェア**を有しています。
- 既存事業の強化に加え、志を同じくする会社を新たにグループに迎え（**M&A**）、**事業領域の拡大**に積極的に取り組んでいます。

グループ概要

製品・サービスについて

2017年9月期業績

2018年9月期業績見通し

株式情報・配当・株主優待

会社概要 (2018年3月末現在)

■ 商号	株式会社 C E ホールディングス
■ 設立	1996年3月25日
■ 資本金	11億3,659万円
■ 所在地	札幌市白石区平和通15丁目北1番21号
■ 代表者	代表取締役社長 杉本 恵昭
■ 上場市場	東証一部、札証 (証券コード: 4320)
■ 主な株主	日本電気株式会社、日本事務器株式会社、日本生命保険相互会社、株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行
■ 従業員数	303名 (連結)
■ 連結子会社	株式会社シーエスアイ (100.0%) () 内は出資比率 株式会社Mocosuku (57.5%) 株式会社エムシーエス (51.0%) 株式会社システム情報パートナー (100.0%) 株式会社ディージェーワールド (100.0%)
■ 持分法適用関連会社	株式会社駅探 (東京証券取引所マザーズ上場)

人は心に生き心に動く、**人こそ企業**なり。

人の心の痛みを理解し、思いやりと他を生かす
ことにより、自らも伸びる企業を目指す。

経営ビジョン・基本方針

□ 経営ビジョン

人々（**C**onsumer）や企業（**E**nterprise）のために、**ヘルスケアの分野で貢献**する。

□ 基本方針

医療を中心としたヘルスケア全般を I T で支援し、
それに関わる

国民の安心・安全な生活 や
社会や事業者が抱える課題解決 に
寄与することを目指す。

当社グループの概要

- ※ は連結子会社
- ※ は持分法適用関連会社

(1996.3 ~)



株式会社 **CE** ホールディングス
(上場会社・持株会社)

(2012.5 ~)
資本・業務提携

駅探 (上場会社)

(2013.4 ~)



電子カルテシステム「MI・RA・ISシリーズ」の開発・販売

100.0%

(2015.3 ~)



看護支援システムの開発・販売・サポート

51.0%

(2016.11 ~)



医療情報システムの運用管理・受託開発、一般企業向けシステムの受託開発

100.0%

(2014.6 ~)



ソフトウェアの受託開発、コンピュータシステム構築コンサルタント

100.0%

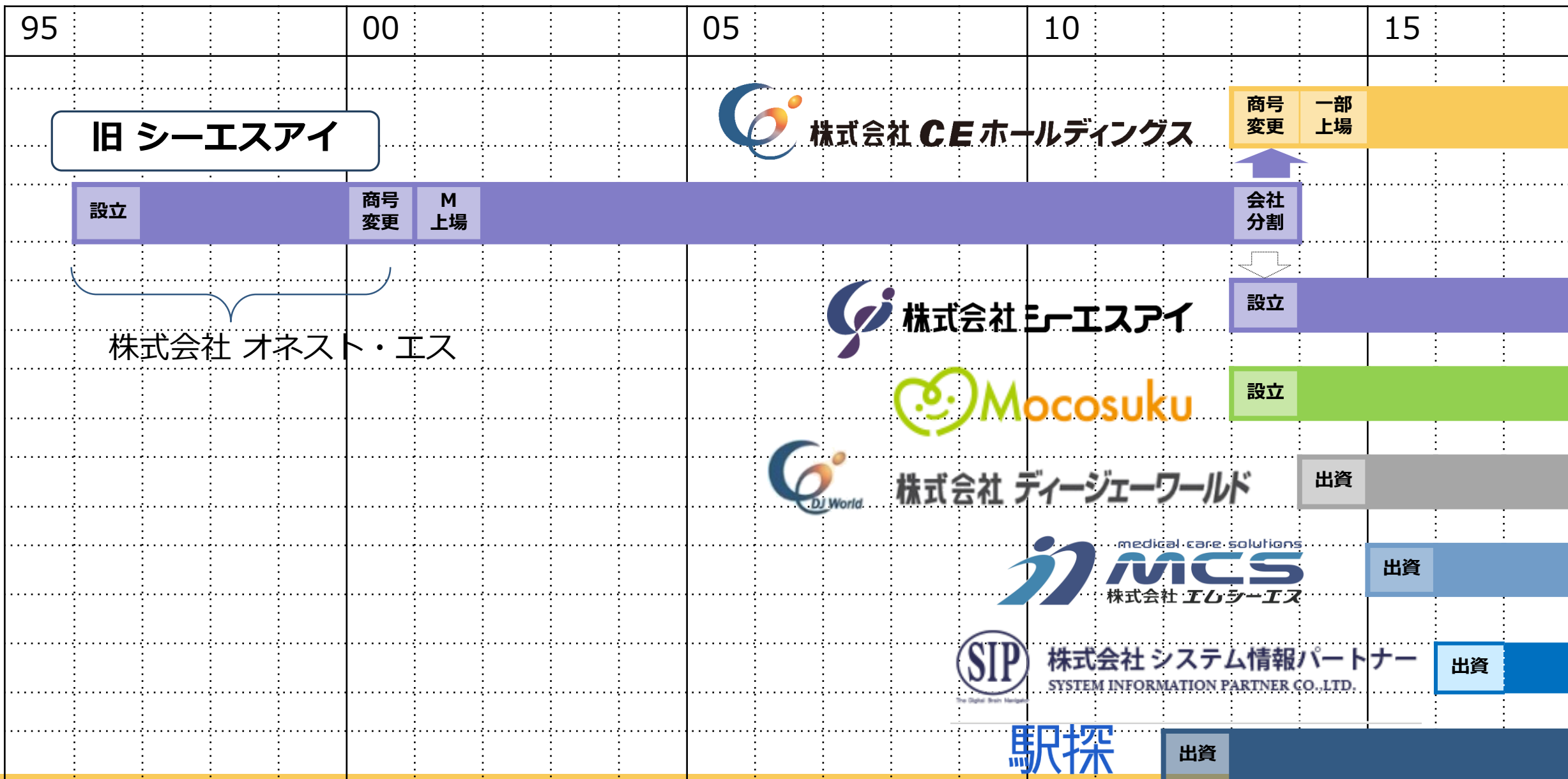
(2013.4 ~)



医療・ヘルスケア情報の提供、それらに関連するマーケティングサービス

57.5%

グループの沿革



当社グループの拠点



- 

本社(札幌)

- 

本社(東京)

- 

本社(札幌)

- 

本社(弘前)

- 

本社(東京)

目次

グループ概要

製品・サービスについて

2017年9月期業績

2018年9月期業績見通し

株式情報・配当・株主優待

セグメント別製品・サービス

医療システム事業

電子カルテ「MI・RA・Isシリーズ」

MI・RA・Is/AZ

新製品

ミライズ エージー

MI・RA・Is/PX

MI・RA・Is/AZ	一般病院向け
MI・RA・Is/AZ Mix	療養・精神病院向け
MI・RA・Is/AZ Lite	小規模病院向け
MI・RA・Is/AZ For Cloud	クラウド版

ID-Link

地域医療連携システム

安タッチ

個人の安否確認システム

れんさく君

地域連携室業務支援用Webサービス

MI・RA・Is/Signage

医療機関向けクラウドデジタルサイネージ

かかりん

診療・施設予約、病院からの情報提供

その他

Mocosuku (もこすく)

ヘルスケア関連情報サイト

DJ-Signage

公共・商業施設向けクラウドデジタルサイネージ

セグメント別製品・サービス

医療システム事業

電子カルテ「MI・RA・Isシリーズ」

MI・RA・Is/AZ

新製品



MI・RA・Is/PX

ミライズ エージー

MI・RA・Is/AZ	一般病院向け
MI・RA・Is/AZ Mix	療養・精神病院向け
MI・RA・Is/AZ Lite	小規模病院向け
MI・RA・Is/AZ For Cloud	クラウド版

ID-Link

地域医療連携システム

安タッチ

個人の安否確認システム

れんさく君

地域連携室業務支援用Webサービス

MI・RA・Is/Signage

医療機関向けクラウドデジタルサイネージ

かかりん

診療・施設予約、病院からの情報提供

その他

Mocosuku (もこすく)

ヘルスケア関連情報サイト

DJ-Signage

公共・商業施設向けクラウドデジタルサイネージ

電子カルテシステム

※ 当社グループの電子カルテシステムの説明であり、メーカーにより定義や機能が異なります

MI・RA・Is /AZ

□ 診療記録システム

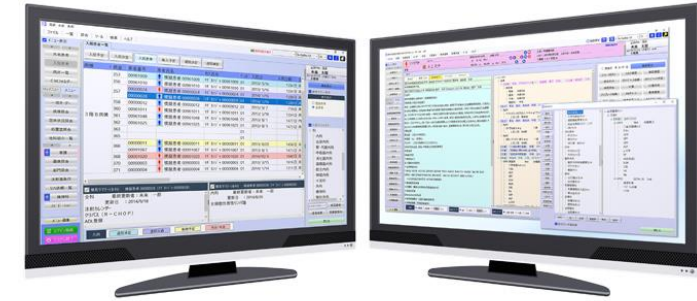
- 紙カルテを電子的に置き換えたシステム 【狭義の電子カルテ】

□ オーダリングシステム

- 医師が検査や投薬などの指示（オーダー）を入力し、オーダー受取者がこれに従って処理・処置を行うシステム

□ 看護支援システム

- 看護業務や病棟管理を支援するシステム



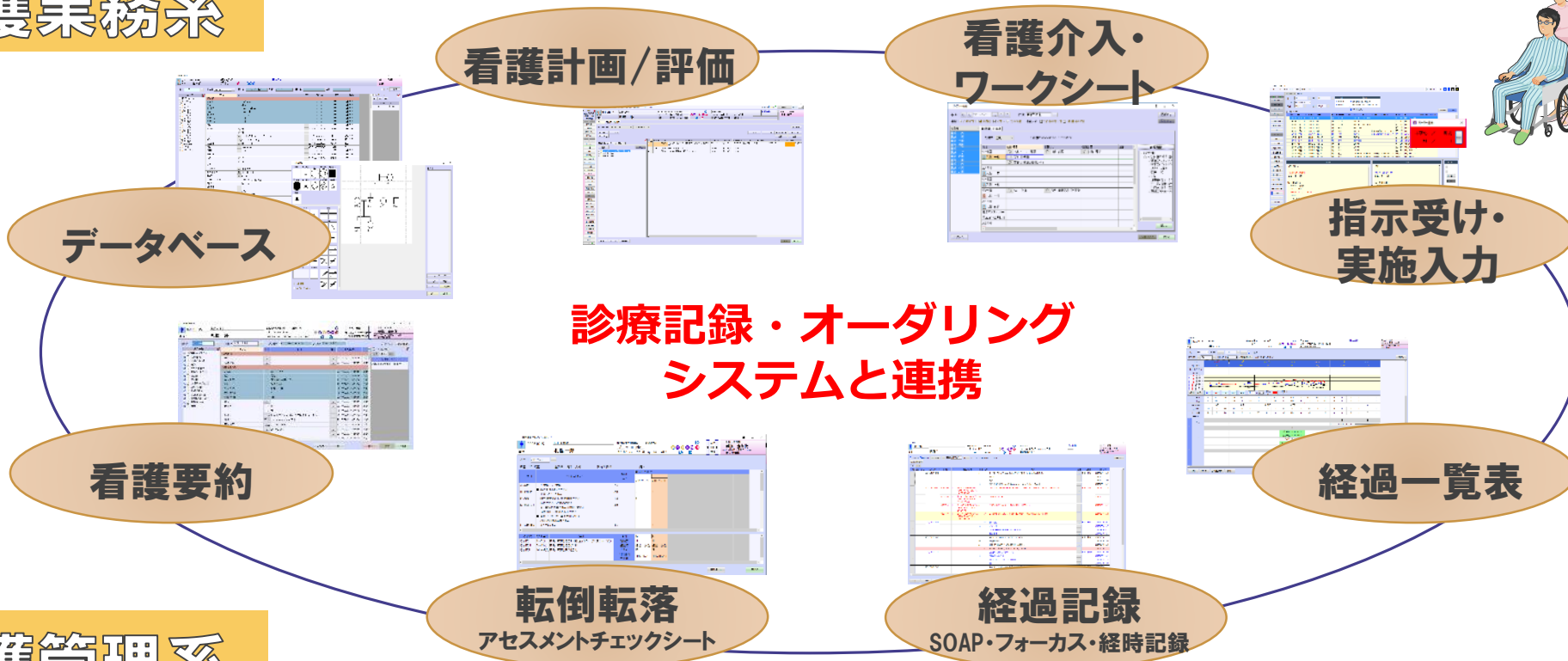
電子カルテシステム（診療記録・オーダーング）

診療記録
システム

オーダーング
システム

電子カルテシステム（看護支援システム）

看護業務系



看護管理系



看護日誌
病棟日誌・外来日誌・看護管理日誌

看護必要度
Hファイル

看護業務照会

褥瘡管理
診療計画書・回診記録

看護CSV出力

看護業務の現場を支援



入院から退院まで看護過程を、管理・現場の両面で強力に支援



病棟状況を簡単に把握

日本の医療費の現状

■ 日本の総人口	1億2,672万人
■ 入院患者数	132万人/日
■ 外来患者数	724万人/日
■ 総医療費	1,160億円/日 42兆3,644億円/年
■ 総医療費の内訳	16兆 4,715億円 (公費・税金) 20兆 6,746億円 (保険料) 5兆 2,183億円 (患者負担他)

※ データは厚生労働省（平成29年9月13日発表「平成27年度 国民医療費の概況」、平成27年12月17日発表「平成26年 患者調査の概況」）による

増え続ける国民医療費

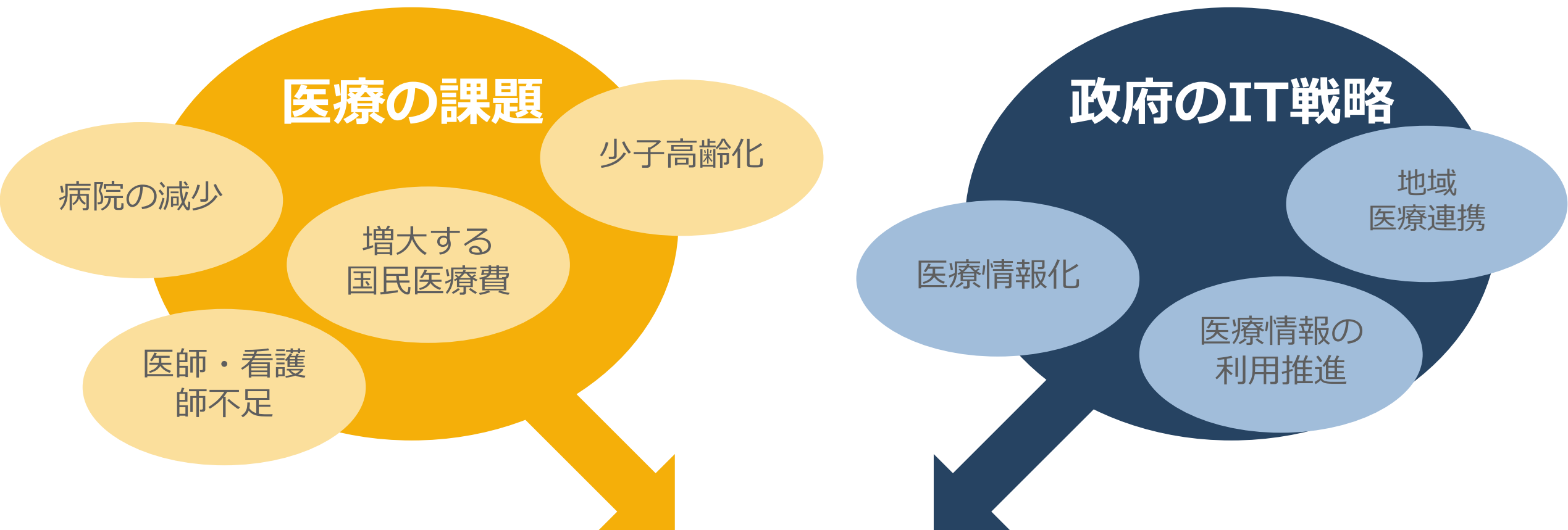
少子高齢化（高齢者増加）
＝ 高齢化が一層進む “2025年問題” ＝

病院の減少 8,442施設（毎年減少）

医師・看護師不足（偏在化傾向）

※データは厚生労働省（平成29年9月26日発表「平成28年 医療施設（動態）調査・病院報告の概況」による

医療情報システムの今後の展開



**次世代の医療システムの一環として
医療機関への電子カルテシステム普及が必須**

医療情報システムの今後の展開

※首相官邸「未来投資戦略2017」より

医療情報システムに関する国策

ビッグデータを利用した診療支援
ICTを活用した予防・健康づくりの推進

<具体策>

2016

2017

2018

2019

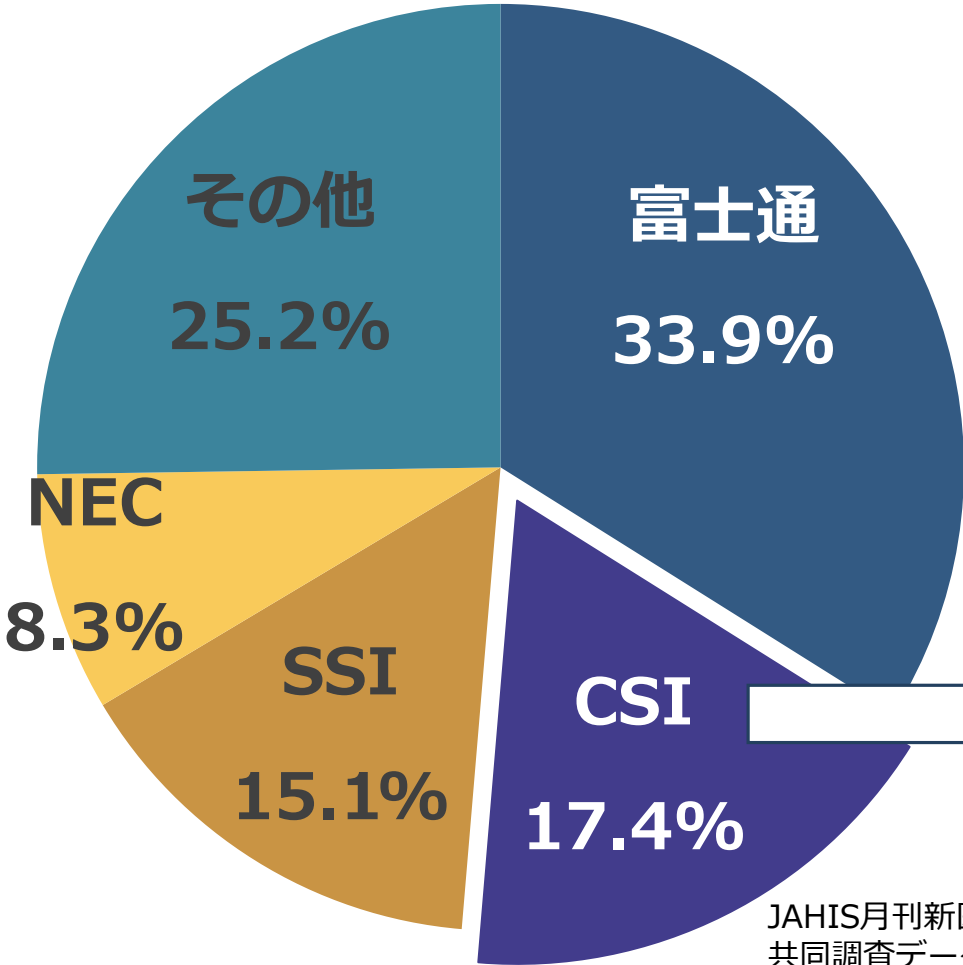
2020

400床以上の一般病院電子カルテ普及率を90%に

地域医療ネットワークの普及実現

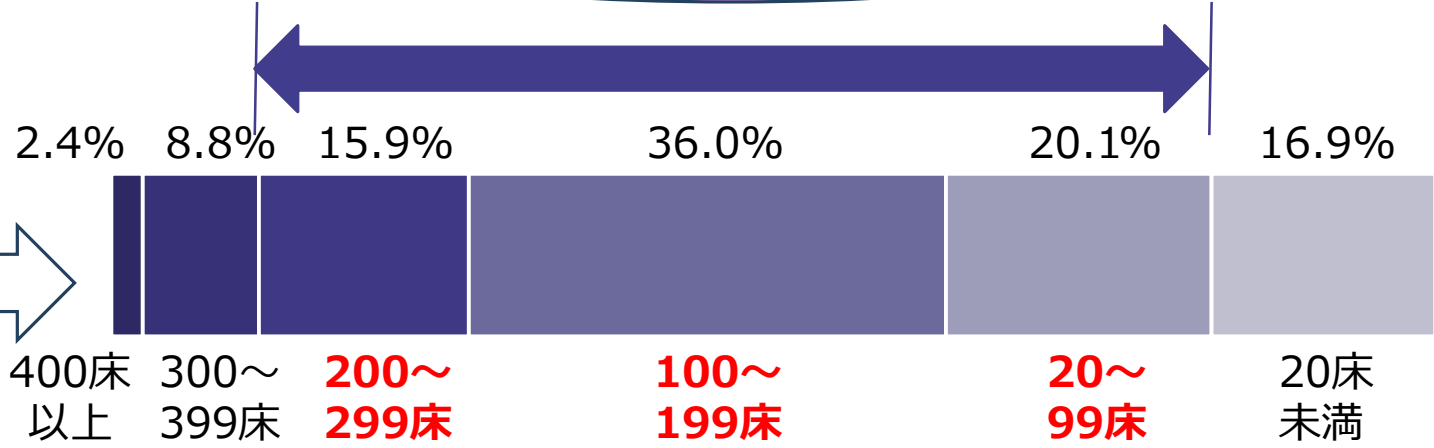
導入件数 国内第2位

中小病院に特に強み



当社顧客の約7割が
中小病院（300床未満）

メインターゲット

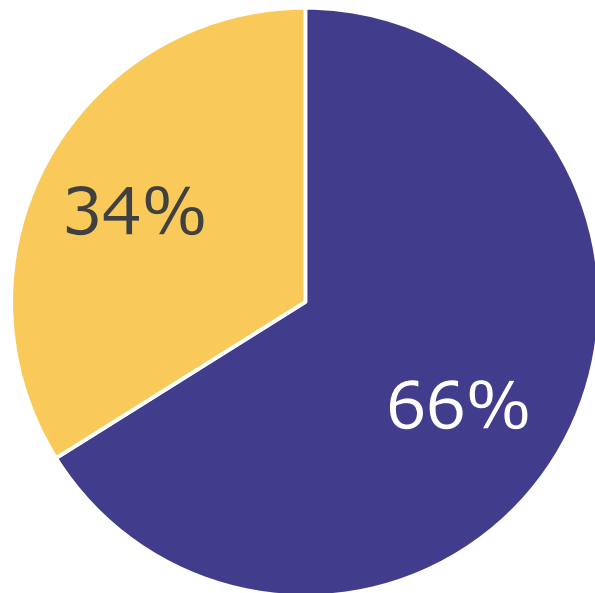


JAHIS月刊新医療
共同調査データから当社集計

大病院

(300床以上)

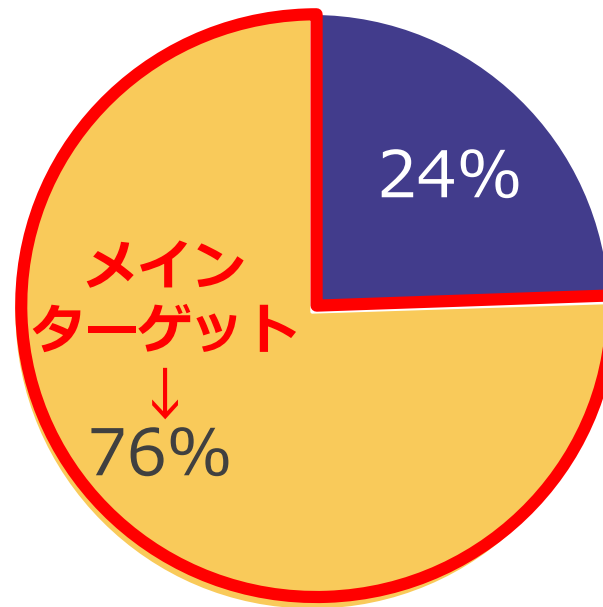
■ 導入 ■ 未導入



中小病院

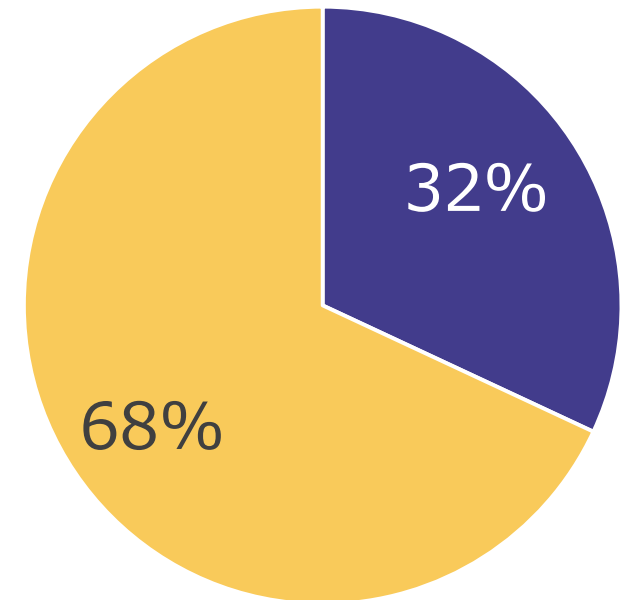
(300床未満)

■ 導入 ■ 未導入

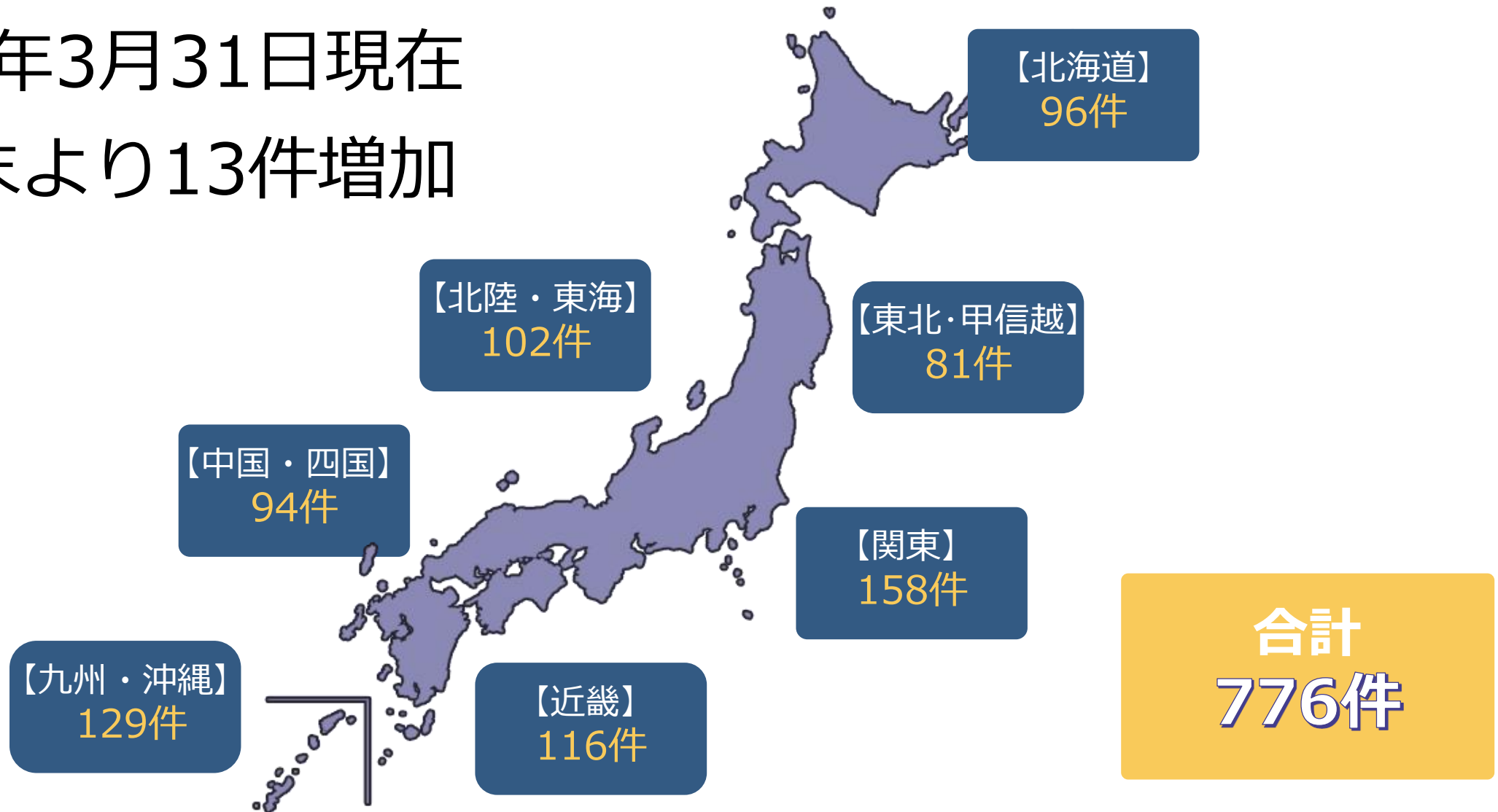


合計

■ 導入 ■ 未導入

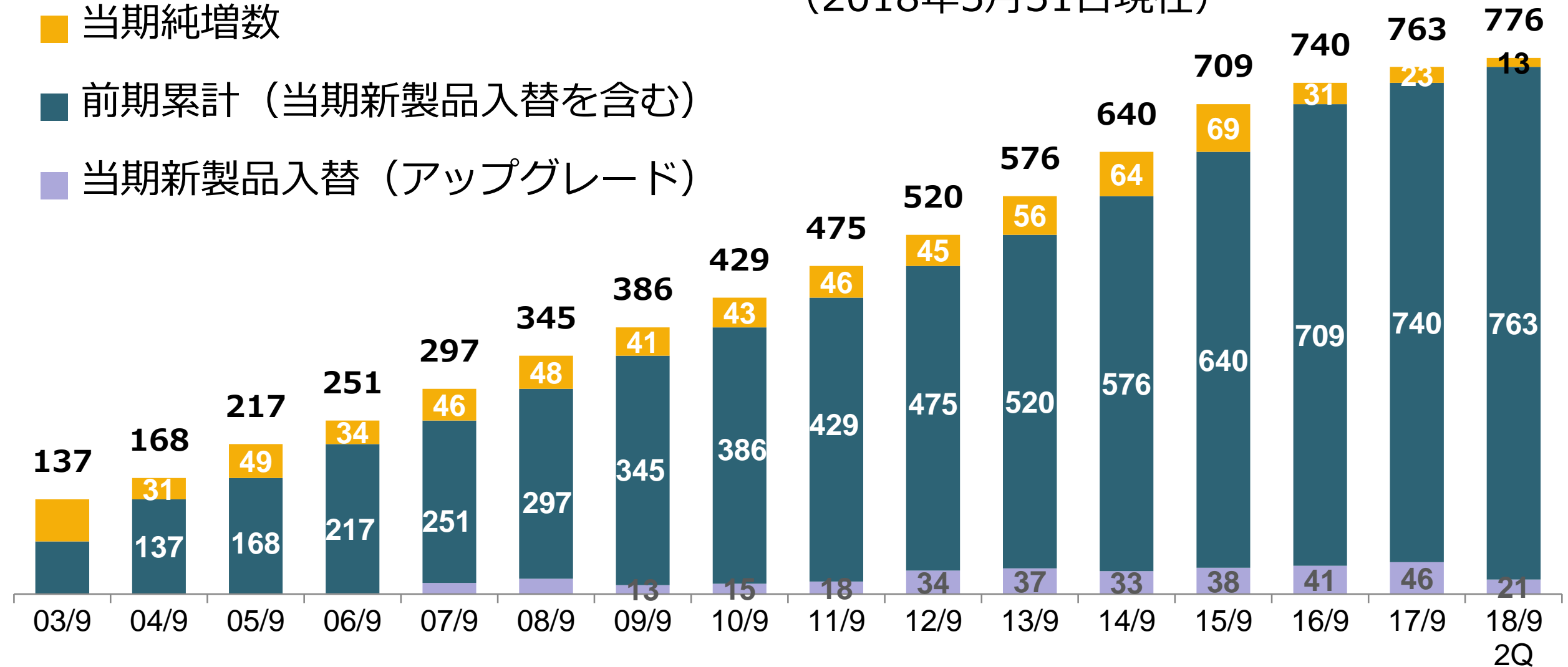


- 2018年3月31日現在
- 前期末より13件増加



(2018年3月31日現在)

- 当期純増数
- 前期累計（当期新製品入替を含む）
- 当期新製品入替（アップグレード）



セグメント別製品・サービス

医療システム事業

電子カルテ「MI・RA・Isシリーズ」

MI・RA・Is/AZ

新製品

ミライズ エージー

MI・RA・Is/PX

MI・RA・Is/AZ	一般病院向け
MI・RA・Is/AZ Mix	療養・精神病院向け
MI・RA・Is/AZ Lite	小規模病院向け
MI・RA・Is/AZ For Cloud	クラウド版

ID-Link

地域医療連携システム

安タッチ

個人の安否確認システム

れんさく君

地域連携室業務支援用Webサービス

MI・RA・Is/Signage

医療機関向けクラウドデジタルサイネージ

かかりん

診療・施設予約、病院からの情報提供

その他

Mocosuku (もこすく)

ヘルスケア関連情報サイト

DJ-Signage

公共・商業施設向けクラウドデジタルサイネージ

現状



A病院（腫れ物治療）

後日



B病院（風邪）

この患者様は、他の病院で
どのような診察を受けてい
るのだろうか？

電子カルテがないと別の医療機関での処
方、検査結果等が全く分からない

医療連携



A病院（腫れ物治療）

ID-Link...

後日



B病院（風邪）

なるほど！
A病院で腫れ物治療をして
いたのだな

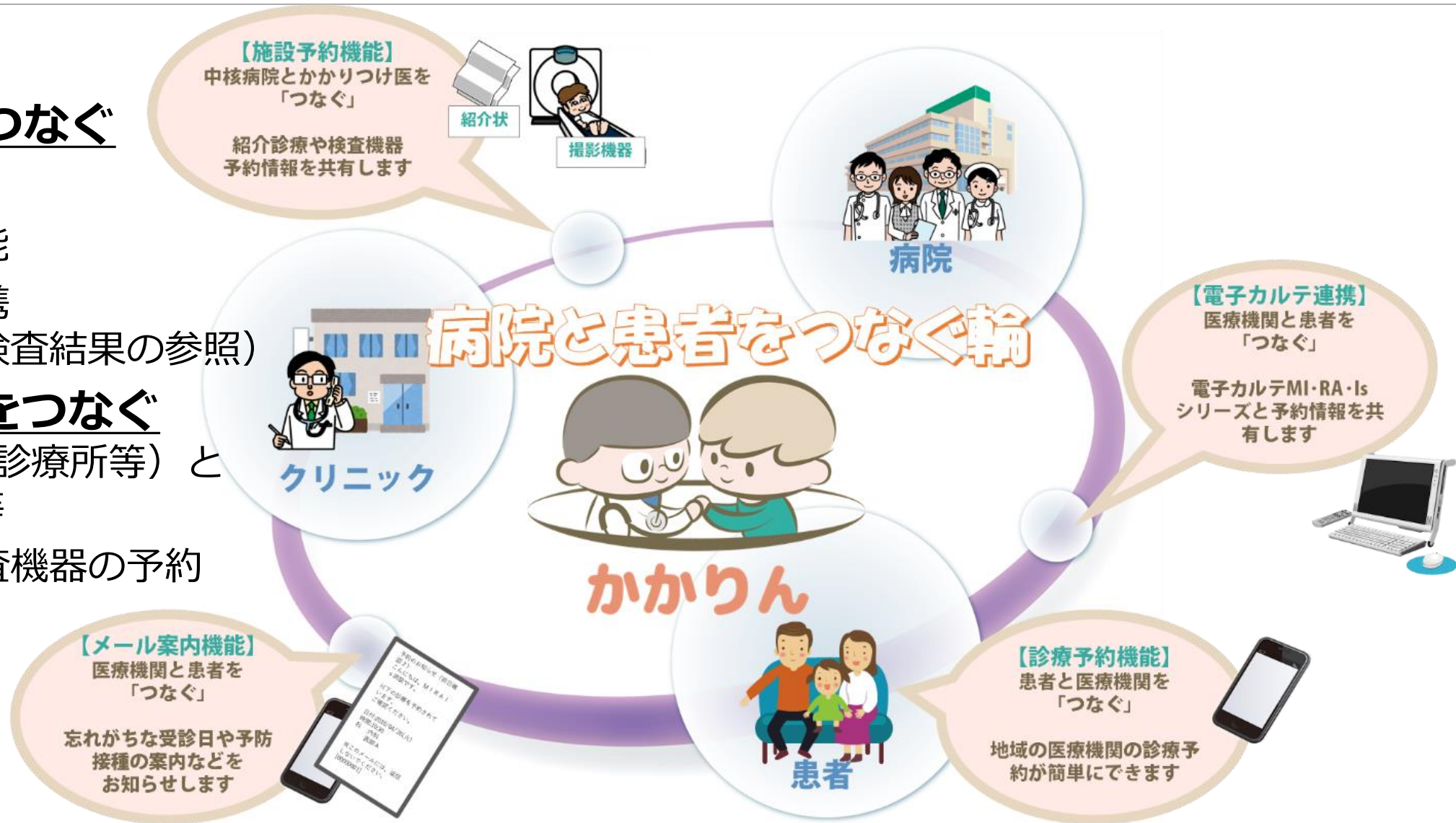
電子カルテがインターネット等で繋がって
いると医療機関間で診療内容が共有できる

医療機関と患者・家族をつなぐ

- 診療予約機能
- メール案内機能
- 電子カルテ連携
(処方履歴・検査結果の参照)

医療機関同士をつなぐ

- かかりつけ医（診療所等）と地域中核病院 等
- 紹介診察や検査機器の予約



DJ-Signage (ディージーエー・サイネージ)

デジタルサイネージ → 液晶やLEDディスプレイを用いた電子看板

(株)ディージーエーワールド 販売先

- ホテル
 - 京王プラザホテル札幌
 - 定山溪ビューホテル など
- 飲食店、小売店
 - なだ万茶寮 札幌大丸店
 - きのとやカフェ など
 - わかさいも本舗 洞爺湖本店
 - ルタオ新千歳空港店 など
- 駅、ゴルフ場、等々



医療機関にも展開中 (MI・RA・Is/Signage)

＜病院への導入例＞

- ・ 東京武蔵野病院 など



目次

グループ概要

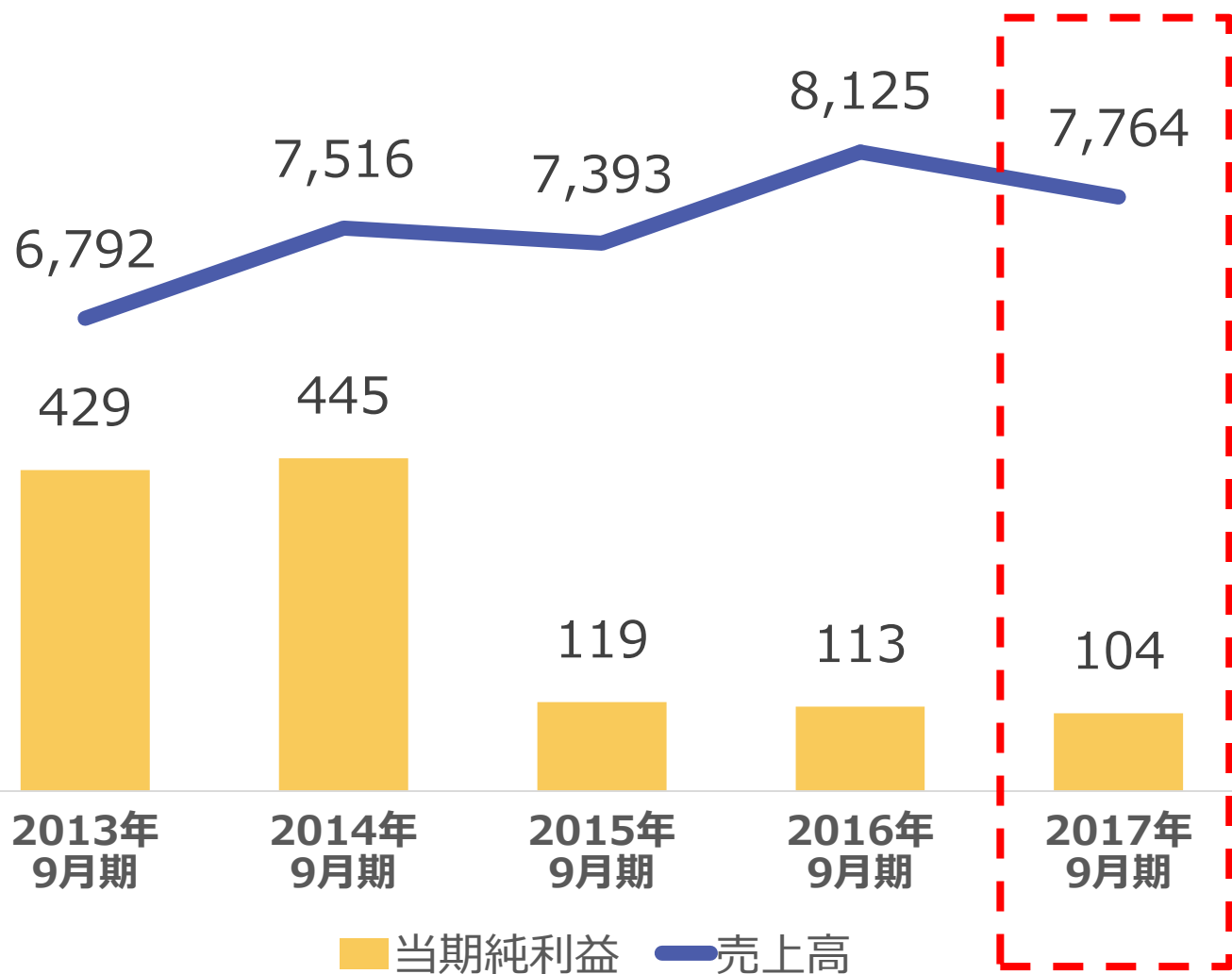
製品・サービスについて

2017年9月期業績

2018年9月期業績見通し

株式情報・配当・株主優待

連結業績



単位：百万円

■ 売上高は前期比若干の減少 (△4.4%)

- 電子カルテ新製品（8月～）の販売パートナー向け出荷好調
- 連結子会社の増加
- × 通期での電子カルテ販売件数が前期より低調

■ 売上高の減少はあったものの、利益率が改善し、経常利益は前期並み（△0.1%）

■ 子会社の特別損失計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比減少（△8.4%）

※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

損益計算書 (連結)

単位：百万円	2016年9月期 実績	2017年9月期 実績	前期比 増減率
売上高	8,125	7,764	△4.4%
営業利益	170	163	△4.0%
経常利益	222	222	△0.1%
当期純利益	113	104	△8.4%

- 8月より販売を開始した電子カルテ新製品「MI・RA・Is/AZ」の販売パートナー向け出荷が好調であったことや、連結子会社の増加といった増収要因があったものの、通期での電子カルテ販売件数が前期より低調であったことから、売上高は前期比若干の減少。
- 売上高の減少はあったものの、電子カルテ直販物件の採算が向上したことや前述の新製品の販売パートナー向け出荷の増加等により、利益率が改善し、営業利益は前期比若干の減少、経常利益は前期並みとなり、親会社株主に帰属する当期純利益については子会社の特別損失計上により前期比減少。

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 ※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

目次

グループ概要

製品・サービスについて

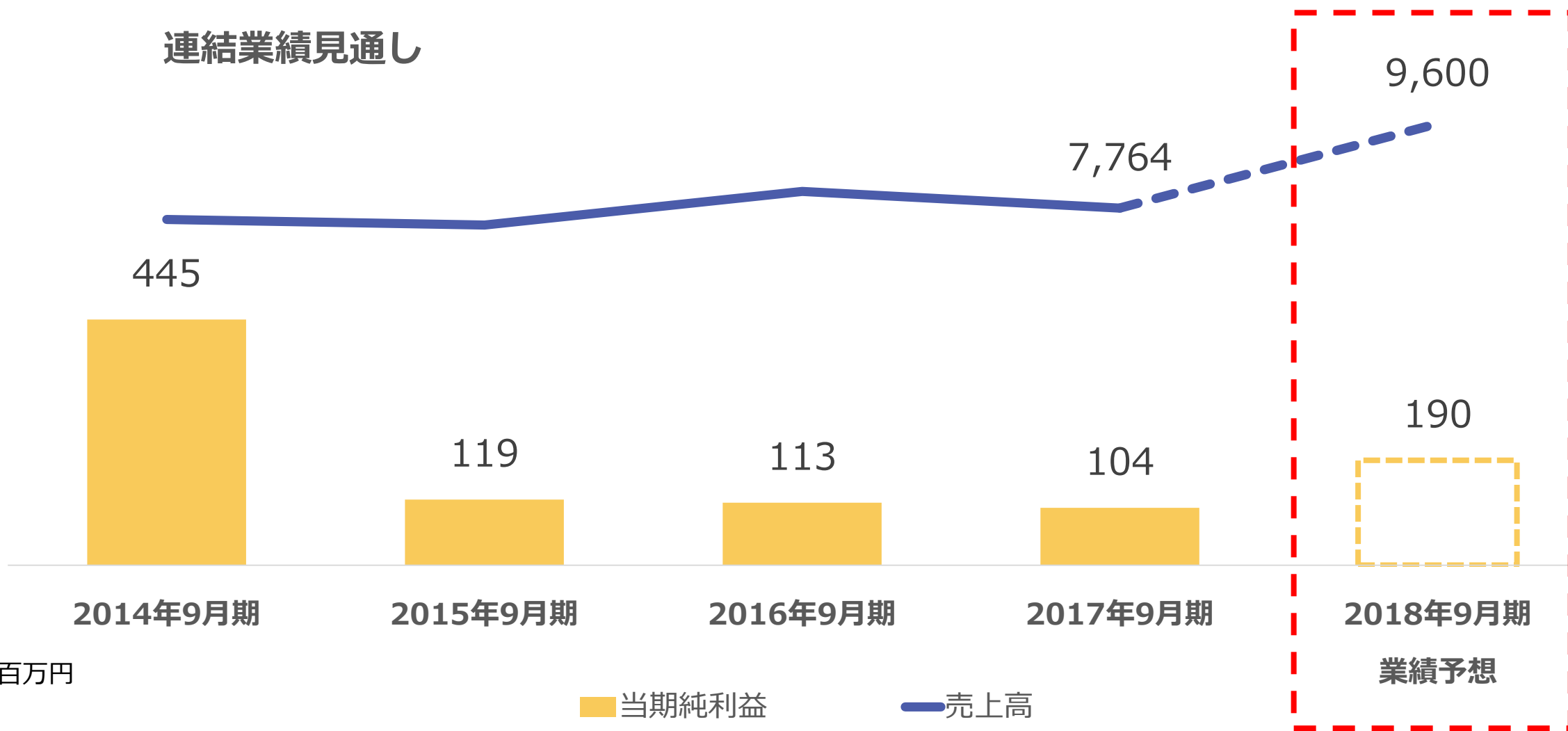
2017年9月期業績

2018年9月期業績見通し

株式情報・配当・株主優待

2018年9月期 業績見通し

連結業績見通し



単位：百万円

■ 当期純利益 ■ 売上高

※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

2018年9月期 業績見通し

単位：百万円

(連結)	2017年9月期 実績	2018年9月期 計画	前期比 増減率
売上高	7,764	9,600	23.6%
営業利益	163	400	144.1%
経常利益	222	450	102.3%
当期純利益	104	190	82.0%

- 医療システムを中心に、販売面の強化、顧客満足度向上、製品の品質向上及び機能強化、利益率の改善に取り組む。

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 ※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

中期目標 (2020年9月期)

3年以内に

**MI・RA・Is
1,000ユーザー**

(776ユーザー
2018年3月末)

**売上高
100億円**

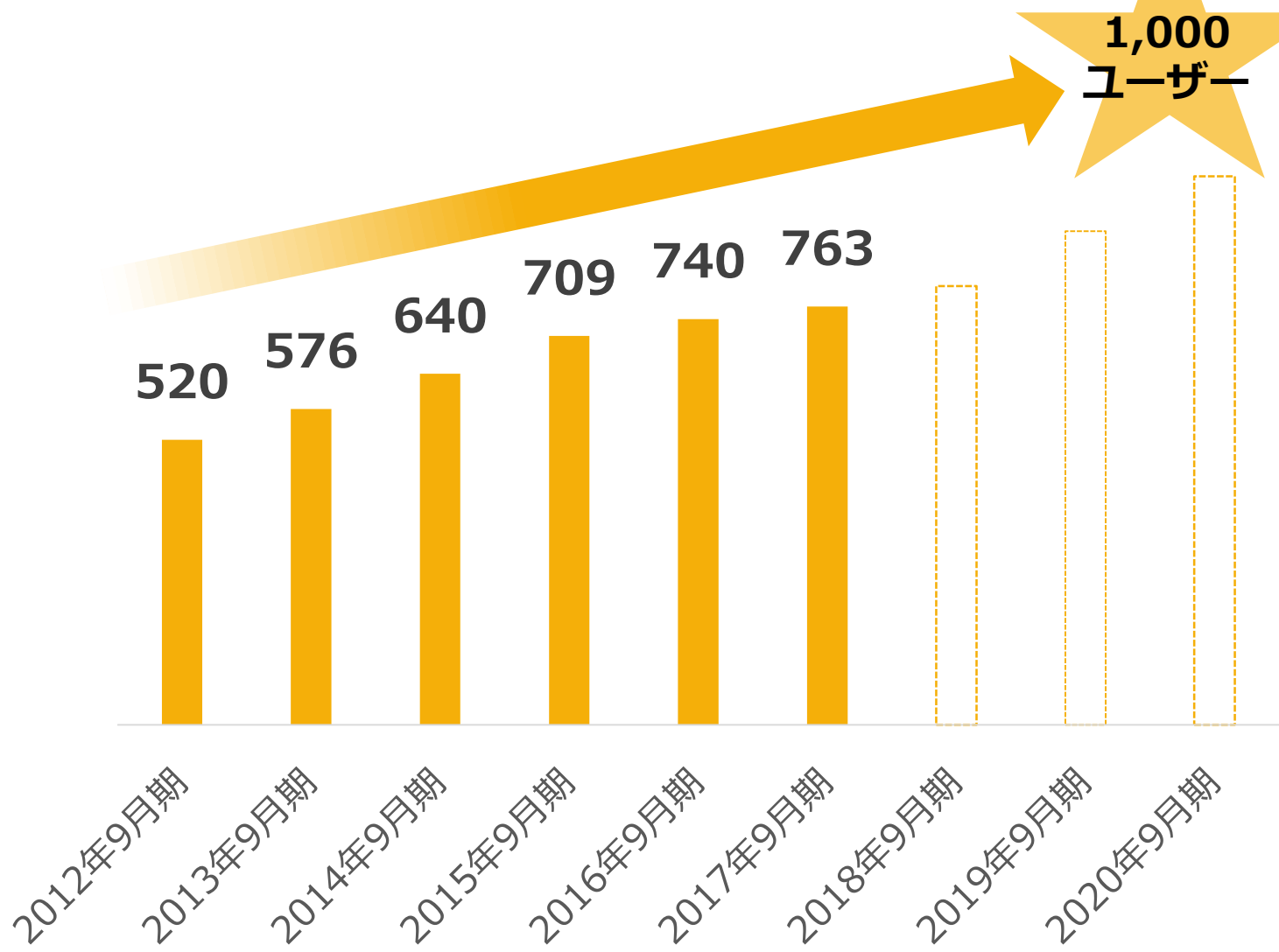
(77.6億円
2017年9月期)

**営業利益率
10%**

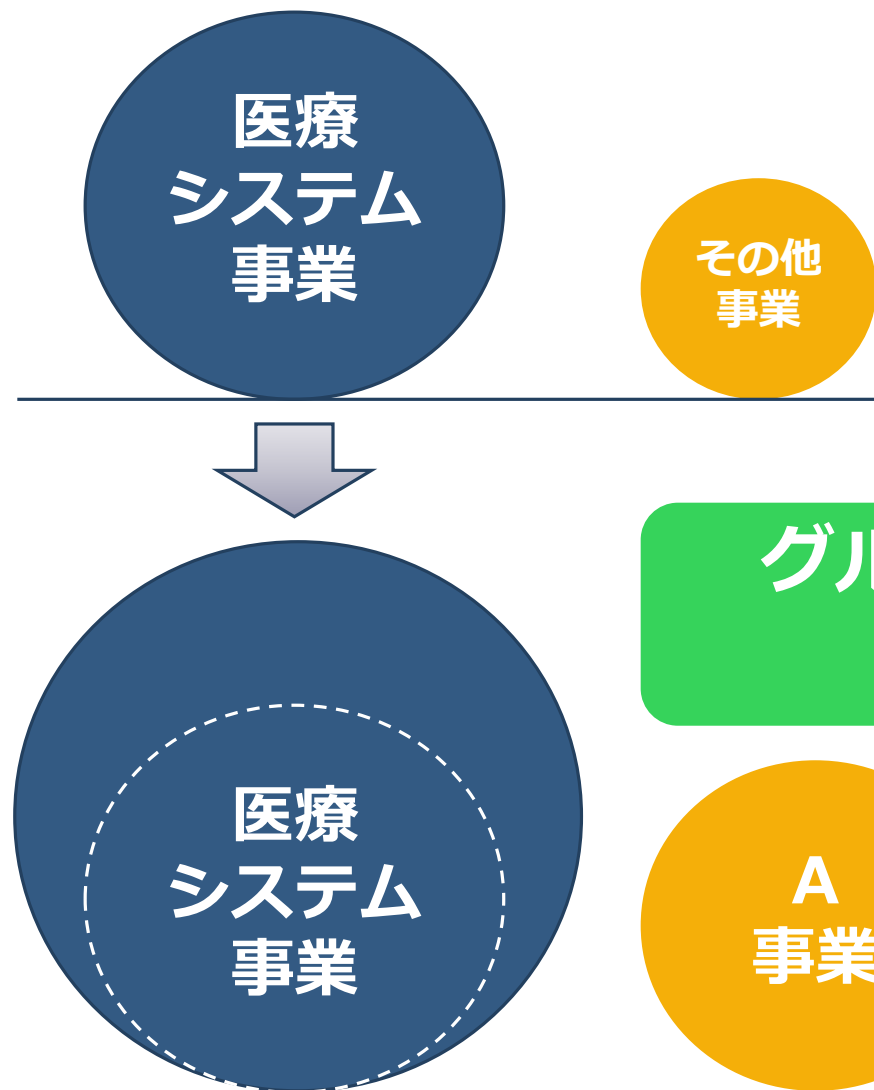
(2.1 %
2017年9月期)

**時価総額
100億円**

(62.6億円
2018年3月末)

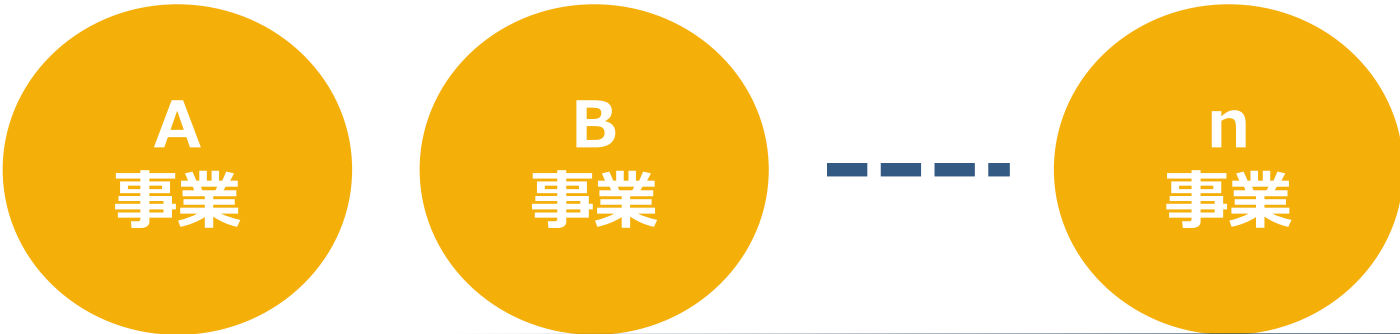


グループでの事業領域拡大



医療・介護・福祉・保健に関わる
情報システム や 情報サービス を
 中心に、事業領域を拡大

グループ内での事業の育成・立ち上げに加え、
 提携やM&Aに積極的に取り組む



目指す企業グループ像

- 電子カルテに留まらず、業務効率化、集客など**幅広いソリューション**で**病院の経営を支援**できる
- 「地域包括ケアシステム」の流れを受け、病院のみならず、**診療所・調剤・介護等の領域でも事業展開**している
- 医療・介護・保健・福祉の各分野における**データを用いた新たな価値創出・ビジネス**が展開できている

目次

グループ概要

製品・サービスについて

2017年9月期業績

2018年9月期業績見通し

株式情報・配当・株主優待

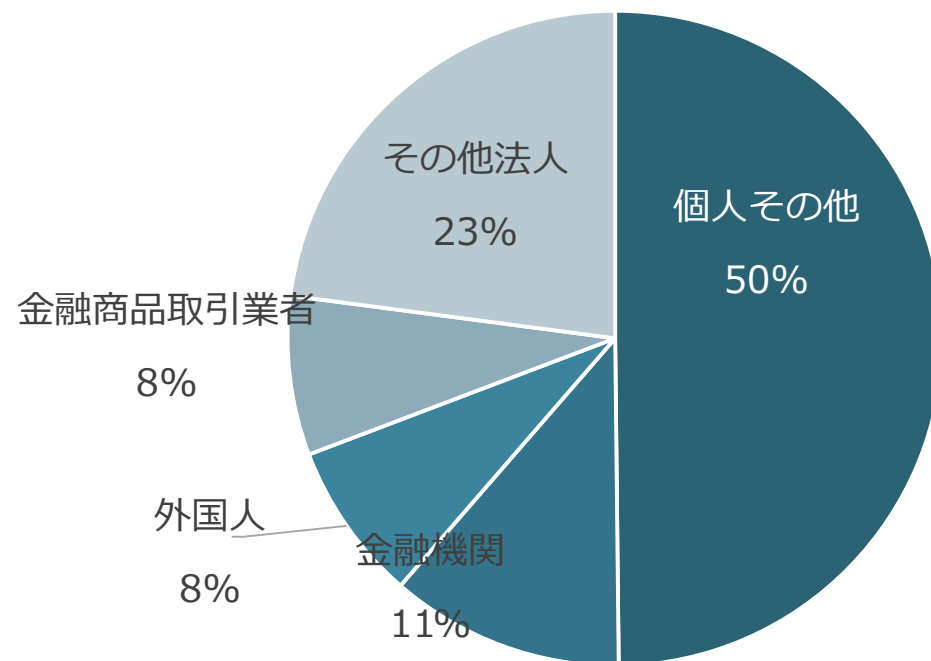
大株主上位10名等（2018年3月31日現在）

株主名	持株数	持株比率
日本電気株式会社	600,000株	8.29%
杉本 恵昭	555,400株	7.67%
MSIP CLIENT SECURITIES	458,900株	6.34%
株式会社エムティーアイ	428,700株	5.92%
株式会社光通信	335,800株	4.64%
みずほ証券株式会社	277,300株	3.83%
井戸川 静夫	195,300株	2.70%
会田 研二	192,700株	2.66%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	154,000株	2.13%
日本事務器株式会社	141,600株	1.96%

※当社は2018年3月31日時点で自己株式を167,128株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 ※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

	株数	保有比率
特定株	3,409,956株	46.03%
浮動株	1,722,400株	23.25%

※特定株：
 大株主上位10名+役員持株+自己株式（重複分除く）
 ※浮動株
 100株以上5,000株未満の株主が保有する株式数

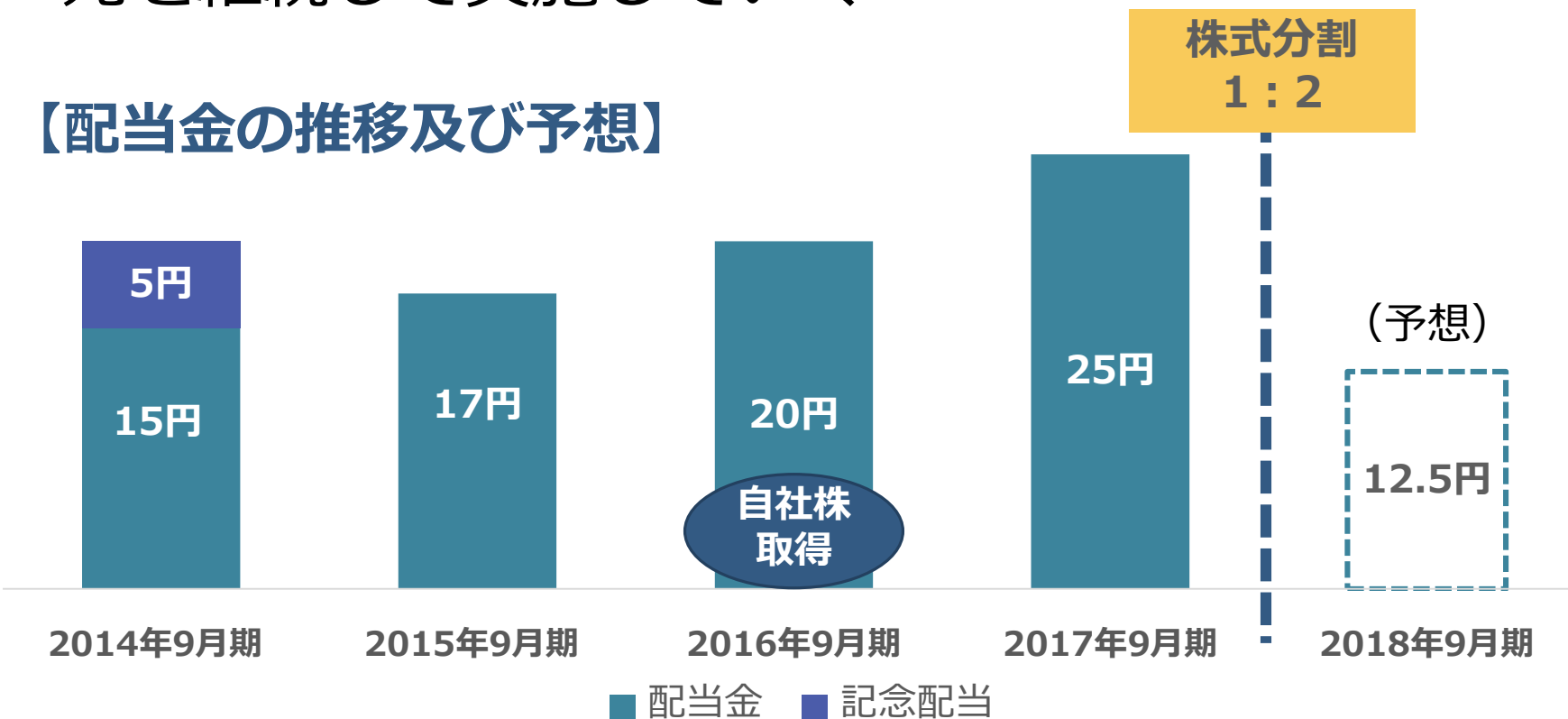


配当について

【利益配分に関する基本方針】

- 株主尊重を第一義として考え、利益配分については、経営基盤の一層の強化と事業拡大に必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を継続して実施していく

【配当金の推移及び予想】



※ 2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

※ 2017年9月期以前配当金については、当該株式分割前の配当金の実際の額を記載しております。

株主優待制度について

□ QUOカードを贈呈

□ 対象：

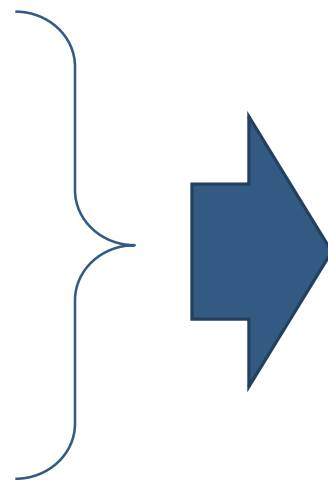
毎年9月30日末時点において、当社が定める基準に該当する株主様

【前回の優待内容】

● **1,000円分のQUOカード**

➤ 株主優待 500円

➤ **MI・RA・Is/AZ
発売開始記念株主優待 500円**

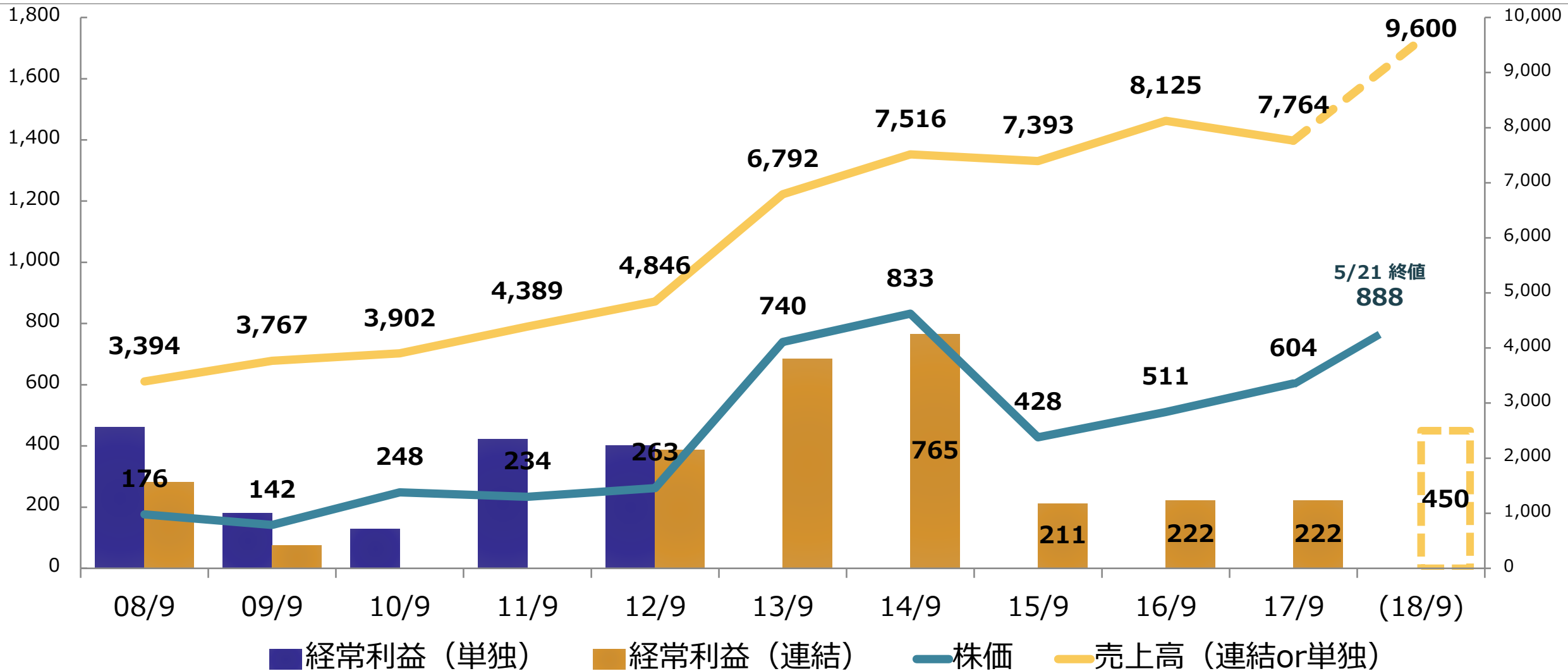


「日本赤十字社」QUOカード
カード1枚につき10円が
「日本赤十字社」へ寄付されます。

※ 当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

2018年9月期（株式分割後）の優待内容は、現在検討中です。

業績・株価の推移



※株価については、過去の株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の推移を示しております。

CEホールディングス ワンポイント

- 電子カルテなど、**病院で使用される医療情報システム**の開発・販売・運用が、グループの主な事業です。
- 病院向け**電子カルテ**の導入件数は**国内第2位**。
約2割のシェアを有しています。
- 既存事業の強化に加え、志を同じくする会社を新たにグループに迎え（**M&A**）、**事業領域の拡大**に積極的に取り組んでいます。

人こそ企業なり。

ご清聴ありがとうございました。

<参考> 第2四半期損益計算書 (連結)

単位：百万円	2017年9月期 第2四半期 実績	2018年9月期 第2四半期 実績	前年同期比 増減率
売上高	3,273	4,534	+38.5%
営業利益	△86	339	—
経常利益	△44	359	—
当期純利益	△60	191	—

- 当第2四半期での売上高は、主力製品である電子カルテシステム「MI・RA・ISシリーズ」の販売が好調であったこと等から、前年同期比大幅増加。
- 利益面においても、売上高の増加に加え、電子カルテシステム新製品「MI・RA・IS/AZ」の研究開発終了による研究開発費の減少等により、前年同期比で大幅に改善。

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 ※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

<参考> 第2四半期セグメント別実績 (連結)

単位：百万円		2017年9月期 第2四半期 実績	2018年9月期 第2四半期 実績	前年同期比 増減率
医療 システム事業	売上高	3,238	4,496	+ 38.8%
	セグメント利益	△70	361	—
その他	売上高	35	37	+ 6.3%
	セグメント利益	△13	△ 14	—

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 前連結会計年度より報告セグメントの区分を見直し、「医療システム事業」と「その他」に変更しており、前期との比較は前期実績をセグメント変更後の数値に組み替えて行っております。

<参考> 第2四半期セグメント別受注状況 (連結)

単位：百万円	2017年9月期 第2四半期 実績		2018年9月期 第2四半期 実績		前年同期比 増減率	
	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高
医療システム事業	3,740	2,227	3,987	2,013	+ 6.6%	△ 9.6%
その他	26	10	18	1	△ 27.4%	△ 86.8%
合 計	3,766	2,237	4,006	2,014	+ 6.4%	△ 10.0%

■ 受注高は増加、受注残高は微減。

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 前連結会計年度より報告セグメントの区分を見直し、「医療システム事業」と「その他」に変更しており、前期との比較は前期実績をセグメント変更後の数値に組み替えて行っております。

本資料に含まれる業界の動向や分析、今後の見通し、施策等は、現時点における情報に基づき判断したものであります。従いまして、将来の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

投資を行う際は、利用者ご自身のご判断で行われますようお願いいたします。

(連絡・お問合せ)

株式会社CEホールディングス

経営企画室

TEL.011-861-1600

個人投資家向け会社説明会資料